



木づかいにかかわる人、 みんなが得をする仕組みづくりを

木づかいビジネスセミナー

企業を対象に、木づかいをビジネスとしていくため、素材としての木の特性やニーズなどを学ぶビジネスセミナーを開催。



美しい森林づくり推進国民運動

「復興アクション～森のチカラで、日本を元気に。」(<http://mori-zukuri.jp/tohoku/>)のホームページ作成にあたって、木づかいビジネス協議会は現地取材・原稿作成・デザイン・構築等の協力を行いました。



木づかいをビジネスとして成功させるためには、売れる商品を作るためのマーケティングが必要、と語る理事の服部進さん。

一般社団法人木づかいビジネス協議会

森をささえよう

同じビジネスの場として活用するようになることで日本の森林環境の改善に貢献したい——また、企業活動を通じて一人でも多くの方に国産材を利用してもらいたい——木づかいビジネス協議会は、こうした考えのもと、木づかい企業が自発的に集まって発足しまし

森と暮らそう

国民運動として取り込まれている「木づかい運動」に参画する企業・団体のマッチングやセミナーの開催などの活動によって、木づかい企業間の交流が深まり、情報交換や企業のコラボレーションなどの動きが活発化しています。

「木づかい」によってビジネスチャンスを得る企業が積極的に「木づかい」の発信や企業間のマッチングを行なうことで、森林環境の改善に寄与したいという思いから木づかいビジネス協議会が発足したのは、平成23年10月のこと。
今回は「木づかい」に関する情報発信や普及広報活動、企業と木づかいのマッチング、さらには木づかいで東北の復興を支援するプロジェクトなど木づかいビジネス協議会が行っている活動について、理事の服部進さんにお話をうかがいました。

た。私たちは次の4つの事業によって、「木づかい」による社会貢献を目指しています。

ひとつめは、木づかいの情報発信および普及広報活動。企業を対象に、木づかいビジネスの最新事情や日本の森林事情を伝える「木づかいビジネスセミナー」、社員研修の一環として「木づかい」の持つ環境貢献度を知ってもらうための企業向けセミナー、企業が開催するイベントや展示会で「木づかい」をテーマとしたアプローチを行うための企画提案のほか、「木育」を推進するための情報発信・イベントなどを行っています。

ふたつめは、企業と木づかいのマッチング事業。企業の立場や視点に捉れない中立的な立場から、木をどのようを使い、利益を上げていくかを考え、木製品を必要としている企業と林業の現場、そして木づかい企業のコラボレーションを提案し、木づかいにかかわる人、みんなが得をする仕組みづく

4つのアクション 活動紹介



復興支援 東北材デザインコンペ入賞作

東京朝市「アースデイマーケット」に出店(1月27日)
東北の木製品を販売するとともに、木づかいによる震災復興をアピールしました。



「復興支援 東北材デザインコンペ」入賞作展示
昨年12月に行われたエコプロダクツ2012の会場内で入賞作8点を試作し、展示しました。



●木のタイピン

木の特性である「しなり」を生かしたデザイン。女性向きの木を用いた小物が多いなか、男性が愛用できる商品案です。



●me-mo-ku(メモク)

東北材を使ったメモ帳です。割り箸と同じように、国内で生産、消費する事が国内の森林を守るヒントとなります。



●木のオーナメント

ガラスや樹脂系の素材が主流のオーナメント。軽い木でも組み合わせることでボリュームのあるオブジェなどができそうです。



今日からやろう! 森のための

4つのアクション



森にふれよう



木をつかおう



復興支援グッズの販売を行う木づかいショップ

今年2月にオープンした木づかいビジネス協議会が運営する「木づかいショップ」では、さまざまな東北の木製品を扱っています。

東北の木や、津波被害にあった木を使った製品を買うことも、支援のひとつ。

そして復興への想いをつなごう。 (木づかいビジネス協議会理事 多田知子さん談)

木づかいショップ ホームページ

<http://www.kizukai-shop.com/>

「復興支援 東北材デザインコンペ」は、企業のノベルティや応援グッズとして使用できる製品デザインを広く募集し、自らの能力の活かせる社会貢献の

目的のひとつとしてきました。 最後は東北復興支援事業。東日本大震災後に発足した木づかいビジネス協議会は、当初から震災復興支援を活動

の販路開発を行っています。木製品は他の工業製品と違い、ひとつひとつが違っていてオリジナリティがあり、手づくり文化の中心にあるべきものです。国産材の魅力を知ってもらうことで、いまの経済の流れの中に国産材製品を乗せていきたいと考えています。

三つめは、国産材製品の開発および販売事業。企業ノベルティをはじめ、音楽やスポーツ関連グッズなど付加価値の高い商材、欲しいと思ってもらえる商品などの国産材製品の開発と商品パッケージ・PRツール等も含めた総合的な企画提案を行い、国産材製品の

りに取り組んでいます。 三つめは、国産材製品の開発および販売事業。企業ノベルティをはじめ、音楽やスポーツ関連グッズなど付加価値の高い商材、欲しいと思ってもらえる商品などの国産材製品の開発と商品パッケージ・PRツール等も含めた総合的な企画提案を行い、国産材製品の

「復興支援 東北材デザインコンペ」は、企業のノベルティや応援グッズとして使用できる製品デザインを広く募集し、自らの能力の活かせる社会貢献の

目的のひとつとしてきました。 最後は東北復興支援事業。東日本大震災後に発足した木づかいビジネス協議会は、当初から震災復興支援を活動

の販路開発を行っています。木製品は他の工業製品と違い、ひとつひとつが違っていてオリジナリティがあり、手づくり文化の中心にあるべきものです。国産材の魅力を知ってもらうことで、いまの経済の流れの中に国産材製品を乗せていきたいと考えています。

三つめは、国産材製品の開発および販売事業。企業ノベルティをはじめ、音楽やスポーツ関連グッズなど付加価値の高い商材、欲しいと思ってもらえる商品などの国産材製品の開発と商品パッケージ・PRツール等も含めた総合的な企画提案を行い、国産材製品の

りに取り組んでいます。 三つめは、国産材製品の開発および販売事業。企業ノベルティをはじめ、音楽やスポーツ関連グッズなど付加価値の高い商材、欲しいと思ってもらえる商品などの国産材製品の開発と商品パッケージ・PRツール等も含めた総合的な企画提案を行い、国産材製品の